

9月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.103 令和3年(2021年)11月1日発行

目次

- ・特集 和歌山市のシンボル 和歌山城
～ええとこやっしょ!! つれもていこらあ～ P2
- ・9月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・議員連盟活動レポートなど P12



魅力再発見!



時代衣装着付体験 一般社団法人和歌山市観光協会(わかやま歴史館1階)

のシンボル 山城

つれもていこらあ～



※ご来城の際は、各ホームページ等を事前にご確認ください。

3 来城者をサポート 安心安全おもてなしの術

おもしろくて楽しい忍術を使いこなす「おもてなし忍者」。道案内、記念撮影、ベビーカーのお手伝いのほか、登城が困難な方には車椅子を使用し、天守閣前広場まで案内しています。おもてなし忍者のサービスは全て無料です。出会ったときは、遠慮なく声を掛けて、楽しい思い出を作ってみませんか。

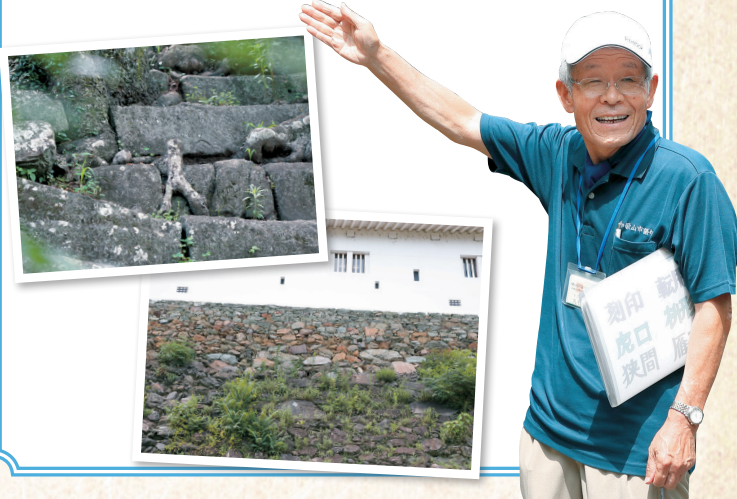


4 ひと味違う！ 語り部と巡るお城の旅

和歌山城といえば連立式天守で有名ですが、立派な石垣も魅力の一つです。3種類の石と加工法、巧みな石積みは、全国のファンを魅了しています。特に天守閣の石垣は、築城当時から再建に至るまでの歴史を色で感じることができます。魅力はこれだけではありません。石垣にある2300個以上の刻印や、石段を登ろうとする人の形をした木の根など、新たな発見を求めて散策してはどうでしょうか。



和歌山市語り部クラブは、市内観光名所で年間15000人以上の方にボランティアガイドをしています。和歌山城でも3か所の出発点から無料で案内していますので、この紙面では伝えきれない和歌山城の魅力をきっと満喫することができますよ。



編集後記



和歌山城の魅力を再発見してほしいとの思いから、和歌山市観光協会との衣装協力のもと、手に取って読んでもらえる紙面を目指して取材に臨んだ。

お城を様々な面で支えている方々に出会い、その活動に感謝しながら、より一層身近な存在にしなければならぬと強く感じた。市民の皆様、特に子供たちには、ぜひともお城の魅力を肌で感じてほしい。改めて和歌山城に魅了された一日であった。

特集担当：中村 元彦、中庄谷 孝次郎、川端 康史



心地よいガイド 船から見える景色は格別



熊野川舟下りでも使用されている手作りの木船に乗り、船頭のガイドを聞きながら約20分間お堀を巡ります。遠くから見慣れている和歌山城の景色も、水上から見上げるととても新鮮です。御橋廊下と天守閣を一度に眺めることができる絶景ポイントでは、思わず声が出てしまうほどです。さらに、御橋廊下の下を通り抜け、西之丸庭園の美しさを水上から楽しむことができるのは、遊覧船ならではの特典です。

さて、乗船して初めて知ったこともたくさんあります。東堀に浮かぶ小屋の役割やお堀の水深、また、船着場付近の石垣に桃の刻印がある理由など、皆さんはご存じでしょうか。

今般の諸事情により運航を中止する場合がありますが、四季折々の絶景、お堀に関する豆知識、ユーモアたっぷりのガイドは乗船してからのお楽しみにして下さいね。



特集
VOI
16

和歌山市 和歌

～ええとこやっしょ!!

和歌山市民にとって親しみのある和歌山城。子供の頃に遠足や家族で訪れた思い出はたくさんありますが、今では近くて遠い存在になっているのではないのでしょうか。

今回、和歌山城の魅力について、市民の皆様に改めて知っていただくため、お堀で遊覧船を運航する船頭の岸真樹さん、和歌山市語り部クラブ会長の丸毛光明さん、和歌山城公園動物園の飼育員の皆さん、おもてなし忍者の皆さんを取材しました。



ようこそ! お城の動物園へ ～ベニー園長がお出迎え～

全国的にも珍しいお城の敷地内にある和歌山城公園動物園。ツキノワグマのベニー園長をはじめ、フンボルトペンギン、アルパカ、ミニホース、タンチョウなど49種類の動物を無料で見学できます。また、飼育員の愛情と努力により始めた1日1回のエサやり体験は、子供たちに大人気のイベントとなっています。混雑する場合がありますので、お早めに!



9月定例会の概要

開
会

9月7日

- ・会期の決定(9月7日～10月12日)
- ・議案説明(報告関係3件、承認関係1件、議案19件(補正予算案4件、条例案5件、その他10件))
- ・先議分 採決

一
般
質
問
等

9月9日

- ・赤松良寛議員、坂口多美子議員、中村朝人議員、西風章世議員

9月10日

- ・南畑幸代議員、川端康史議員、森下佐知子議員

9月13日

- ・井本有一議員、姫田高宏議員、古川祐典議員(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

常
任
委
員
会

9月14日～17日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

9月21日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

特
別
委
員
会

9月22日

- ・地震等災害対策特別委員会

採
決
等

9月27日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係19件)
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任

閉
会

10月4日

- ・決算特別委員会
- ※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ※会期を8日残して閉会

令和3年度予算(9月補正後)

一般会計	1,491億9,114万6千円 (補正額23億3,993万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,364億6,180万4千円 (補正額171万8千円)
合計	2,856億5,295万円

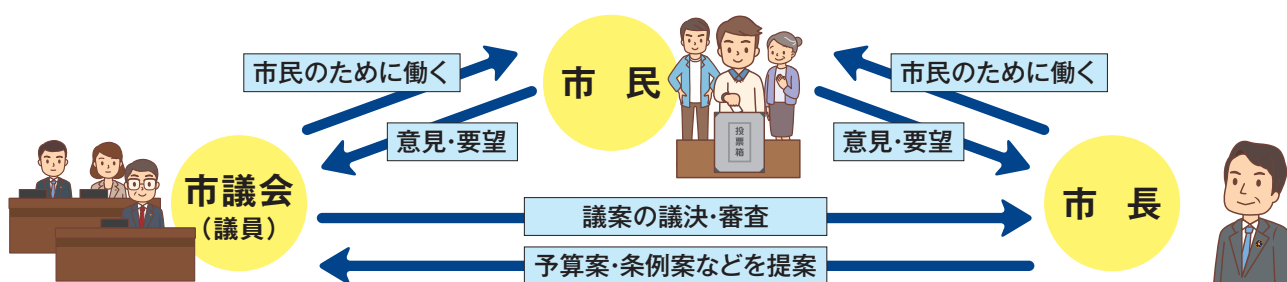
補正予算の概要

一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策として、事業者支援金給付事業、中小企業サポート補助事業の拡充、ワクチン接種協力医療機関慰労金支給事業、妊婦への分娩前PCR検査事業、救急高度化等推進整備事業、学校図書充実事業、地域公共交通運行継続奨励金事業などに要する経費が、また、有吉佐和子邸管理運営事業、つつじが丘テニスコート場屋根整備事業、道路災害復旧事業、下水道災害復旧事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、保険給付費に係る県交付金の精算による経費が計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)



9月定例会採決状況

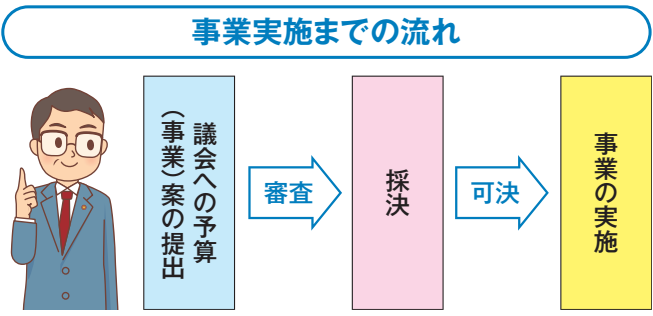
※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
 なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
 ※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	自由民主党市議団					公明党議員団					政和クラブ			日本共産党議員団			民主クラブ			和歌山興志クラブ 日本維新の会																			
			中村元彦	丹羽直子	吉本直樹	井上直典	古川祐典	宇治田清治	遠藤富士雄	堀風章世	園内浩樹	中塚浩隆	藪山昭博	奥山友紀	松本哲郎	芝本和己	戸田正人	松井紀博	北野誠章	佐伯宏一	山本朝一	井村朝人	森下知子	坂口多美子	姫田幸代	南畑敏生	山中康史	川端裕久	永野忠相	山本篤	寒川良寛	中谷孝次郎	赤松麻衣子	山野真方	山崎真輔	尾崎方哉					
承1	固定資産評価審査委員会委員の選任の承認	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議1	令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議2	令和3年度和歌山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議3	和歌山市個人情報保護条例の一部改正	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議4	和歌山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議5	和歌山市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議6	和歌山市立有吉佐和子記念館条例の制定	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議7	和歌山市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議8	市道路線認定(27路線)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議9	市道路線変更(3路線)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議10	指定管理者の指定(四季の郷公園)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議11	工事請負契約の締結((仮称)岡崎団地新2号棟建設工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議12	工事請負契約の締結((仮称)岡崎団地新2号棟建設機械設備工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議13	工事請負変更契約の締結(中央卸売市場水産卸売場棟外建替工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議14	工事請負変更契約の締結(河西橋上部工事(P1~P4))	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議15	令和2年度和歌山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議16	令和2年度和歌山市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議17	令和2年度和歌山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議18	令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議19	令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議20	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議21	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※認第1号から同第19号までの議案については、決算特別委員会での閉会中の継続審査に付されたため、一覧に掲載していません。

採決の役割

市議会の採決は、市が事業を実施する上でとても重要な役割を担っています。
 市民の代表である議員が、市長が提案した事業について様々な視点から議論を行い、最終的に議会が必要だと判断することによって、その事業は進められていくことになります。
 事業が市民の皆様へ届くまでの最終チェックの結果を示すことが採決の役割です。



ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



ふるかわ まさのり
古川 祐典

医療的ケア児

問 新生児医療の進歩により、多くの子供の命が救われていて一方で、医療的ケア児が増加している。そのような中、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関し、国・地方公共団体等の責務を明らかにし、保育

及び教育の拡充、地域格差の是正等を定めた「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立した。

本市における医療的ケア児は約60名であり、行政に対する家族ニーズは、介護負担の軽減、離職防止のための医療的ケア児の受入れ、障害福祉サービスの拡充である。法的根拠が位置付けられ、今後、本市政府が行うべき役割、また、そのために必要とする手立てはどのようなものか。

さらに、県に対し、医療的ケア児支援センターを本市に設置するよう働きかけはどうか。



答 外部機関との連携や協議会の更なる充実を図ると

ともに、新たな社会資源の創出を行いながら支援体制を構築することが必要である。今後は、更に本市が主体性を持って、支援体制の拡充につながるよう努める。

問 また、医療的ケア児支援センターの設置については、県と協議していく。

本市としての制度や方策、体制を整備しながら国や県にも要望していく必要があるが、まずは、医療的ケア児に対する看護師等の担い手の拡充を含め、早急に取組が必要である。家庭においては、離職防止のための介護負担の軽減だけでなく、多くの子供たちが成長する過程で初めての集団生活、就学先という社会的場が必要であるように医療的ケア児も同様に成長する過程が必要である。

答 就学児については、就学先の学校と協議を行い、支援員の配置などの実績もあることから、今後も市立学校等に通えるように関係機関と連携のもと、看護師等の配置を含め、受入れの実現に向け一層取り組んでいきたいと考えているがどうか。

また、未就学児についても同じ思いであるがどうか。

答 医療的ケアが必要な児童生徒に対して、一人一人に応じた支援を実現できるように、今後も関係機関や関係部局の協力を得ながら、支援体制を構築するとともに、「医療的ケア看護職員」の配置に努めていく。

また、未就学児については、医療的ケア児の支援に係る自立支援協議会の協議の結果を踏まえ、受入れ体制の整備に努める。



問 医療的ケア児及びその家族に対し、安心して日常生活を送っていただける環境を整える仕組みを作ることが本市政府の務めであり、実現できるよう強く要望する。医療的ケア児等への支

援策について、市長の思いや今後の考えはどうか。



答 医療的ケア児を抱える家庭においては、様々な不安と苦労を抱きながら、日々の子育てをされていることと思う。大切な我が子を地域の学校や保育所に通わせて、他の子と同じように共に成長させてやりたい、その成長過程の中で、少しでも多くの経験をさせてやりたいと思うのは、子を持つ親として当然のことである。その実現のために、市が主体となり、学校、保育所、障害福祉サービス事業所、医療機関等の関係機関と連携し、協議会の更なる充実を図るとともに、ニーズ調査に基づく多様なサービスの創出を行いながら、

支援体制を構築していく。

医療的ケア児とその家族が本市で不安なく生活できるように、医療的ケアが必要であっても、安心して子供を生み、育てることができ、社会の実現に努めていく。

公明党議員団



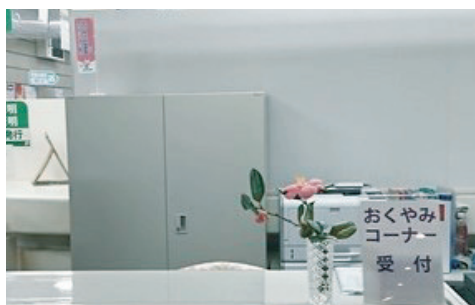
にしかぜ あきよ
西風 章世

おくやみコーナーの設置

問 身内が亡くなり、慣れない手続に戸惑う遺族の心を通うと、少しでもその不安を取り除けるサービスがあってもいいのではないか。本市でも庁内手続の案内文書を渡したり、ホームページ上で死亡届提出後の主な手続を掲載しているとのことだが、ホームページでは見ることができない人が限られる。他市のような、庁外での手続の内容やアドバイス等を記したしおりを作成してはどうか。また、他市では、遺族に寄り添った様々な形

での対応を行っている「おくやみコーナー」を設置している。本市においても、今できることを駆使して、早急におくやみコーナーを設置すべきと考えるがどうか。

答 死亡に伴う諸手続等に関し、庁内手続を一覧にした文書を渡しているが、他の行政機関や金融機関などの庁外手続もあり、全てを案内しているものではない。他市の事例などを参考に案内文書を改善し、内容を充実させていく。また、おくやみコーナーについては、国の設置ガイドラインを参考に研究を進め、遺族が行う手続の利便性向上を図れるよう、窓口の在り方を早急に検討していく。



おくやみコーナー（他市）

終活支援事業

問 他市では、行政が葬儀などの死後の悩みや相談について、組織で対応する終活支援事業を行っている。本市では、そのような支援を行っているか。また、終活支援事業についての考えはどうか。



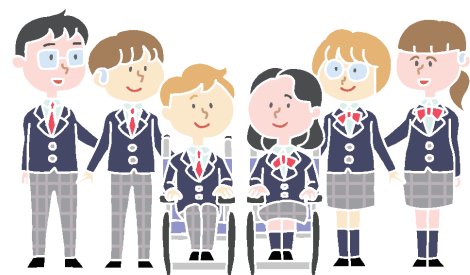
答 市内15か所の地域包括支援センターで高齢者の相談に対応しているほか、高齢者自身が望む人生の最終段階の医療やケアについて話し合うきっかけになるよう「わたしの在り方ノート」を発行している。また、高齢者にとって終活支援は高い関心事であると考え、今後、本市の状況を精査し、他市の取組状況を調査、研究していく。

地域福祉

問 始まったばかりの重層的支援体制整備事業の中で、相談に来ることもできない声なき声を聞くために必要な地域づくり支援について、早期に相談支援へつなげるためにもマンパワーの強化が必要と考えますが市長の考えはどうか。

答 地域づくり支援については、地域資源を幅広く把握した上で様々な住民同士の交流の場や居場所を整備すること。交流、参加、学びの機会を生み出すために個別の活動や人をコーディネートすること。地域のプラットフォームの促進を通じて、多様な地域活動が生まれやすい環境整備と地域のつながりを強化することが目的であり、マンパワーの強化も目的達成のために必要不可欠であると考えている。今後、マンパワーの強化を図ることで地域づくりに向けた支援、ひいては重層的支援体制整備事業への取組を推進していきたい。

福祉教育



問 本市の将来を考えると、地域福祉の担い手の育成や様々な違いを持つ人たちが同じ地域で共に生きる力を育めるような福祉教育を充実させていく必要性があると考えますがどうか。

答 子供たちが周りの人々の多様な在り方を認め、支え合う態度を身に付けるには、互いに関わり合い、一緒に何かをする体験が大切であると考えている。共生社会の担い手として成長していく教育を行うためには、教える側も福祉に関する深い理解を身に付けることが大切であり、教職員の福祉に対する更なる意識の向上を図っていきたい。

日本共産党議員団



さかくち たみこ
坂口 多美子

太陽光発電事業

問 旭メガソーラー西庄発電計画地の周辺は、急傾斜危険区域や土石流危険渓流に指定されており、住民から計画への懸念の声が多数ある。豪雨災害が各地で起こっている今、大規模開発への市長の考えはどうか。

答 防災・減災の重要性は高まっており、対策を強化している。市民の暮らしの安全安心を確保することは当然の前提だと考える。



なかむら あさと
中村 朝人

浸水対策／事業者支援

問 都市計画に位置付けながらも事業計画区域外となっている水軒川右岸について、雨水貯留施設を整備し、

一般質問

IRカジノ

問 浸水対策はできないか。効果的な浸水対策を考える。

答 整備の効果検証など、効果的な浸水対策を考える。

問 外食産業が低迷し、一次産業に従事する方々も減収を余儀なくされている。市独自の支援はできないか。

答 必要に応じ、市独自の支援策の対象を検討する。



みなみばた さちよ
南畑 幸代

特別障害者手当／駅及び駅周辺のバリアフリー化

問 障害者手帳1級、2級がなくても要介護4、5の方が特別障害者手当を受給できる可能性がある。もっと周知すべきではないか。

答 広く関係者に周知する。

問 市長として障害者の立場で駅を利用してはどうか。

答 体験も含め障害者等の目線で安心安全に利用できる環境整備を推進していく。



もりした さちこ
森下 佐知子

IRカジノ

問 IRの継続が困難になった場合のリスクや新たな公共投資の要請が本市に及ぶ可能性はないのか。

答 求められる可能性はあっても、IR誘致のための新たな公共投資は考えていない。また、継続が困難になった場合のリスクが本市に及ばないよう、県と事業者間で締結する実施協定に定めるものと考えている。



いもと ゆういち
井本 有一

高齢者の避難者への対応

問 8月17日の大雨で連絡所に避難した高齢者が適切に介助されず、帰らなければならなかった。福祉避難所の開設がされなかったのはなぜか。今後、適切な対応をしてほしいがどうか。

答 大規模災害ではないので福祉避難所の開設に至らなかった。自主避難者の状況を把握など適切な対応ができるよう連携していく。



ひめだ たかひろ
姫田 高宏

期日前移動投票所の設置

問 市長は以前「投票環境の向上のための方策を期日前移動投票所の必要性も含め、選挙管理委員会と十分協議する」と答弁したが、現時点での考えはどのようなものか。

答 商業施設などに期日前投票所を増やしたが、更なる投票環境向上の方策を選挙管理委員会と協議する。

民主クラブ



かわばた やすふみ
川端 康史

職員定員適正化

問 本市行財政改革実施計画の職員3000人体制について、業務量に見合った適正な人員確保とあるが、平成29年度から達成した年

はない。また、再任用職員を定員としているが、組織力を維持し強化するために、新規採用職員を増やし、組織を活性化する必要がある。業務量の増加と退職者の動向を見極めながら、早期に3000人体制を達成し、行革の推進と組織力の向上を期待したいが、定員適正化をどう評価し、今後の職員のバランスと組織力の維持をどう考えるか。



和歌山市役所

答 おおむね行財政改革実施計画の目標を達成しているものと考えている。また、令和5年度から定年延長制度の導入が予定されており、意欲と能力のある高齢期職員が活躍できるよう更に務めていくことが必要である。職員が長年培ってきた知識・

技術・経験を有効活用するとともに、業務に見合った適正な人員を確保し、行政ニーズに対応できる組織力の維持に努めなければならないと考えている。

働き方改革

問 フレックスタイム制は、労働基準法改正により1988年4月から導入されている。本市において、全ての部署で導入するのは困難であるが、一部の部署でも導入し、試行実施すべきだと考える。改革の実行にはリスクもあるが、気にすることが改革が進まないことが問題である。本腰を入れて勤務制度改革に取り組んでいただきたいが、フレックスタイム制の導入にはどのような問題があり、働き方改革を進める上で、どのような課題があるのか。

答 フレックスタイム制については、市民サービスに影響が出ないような就業ルールの設定や、職員の勤怠管理の手法、導入に適した部署の調査など、慎重な検討が必要と考えている。

働き方改革を進めるには、

まず、職員の意識改革が必要であり、併せて、年次有給休暇取得の促進や早出遅出勤務などの制度の充実を図っていく必要があると考えている。



和歌山興志クラブ・日本維新の会

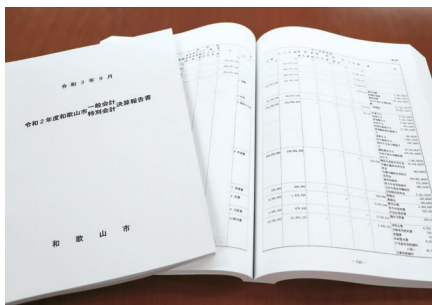


あかまつ よしひろ
赤松 良寛

本市の予算・財政

問 予算については、目標達成が重要であり、費用対効果が重視される。大切なのは、どれだけ市民の声に応えられたのか、どれだ

答 成果の検証については、事業実施による効果が市民にどのような利益をもたらしたのか、また、費用対効



決算報告書

け市民の満足度が向上したのかであり、その当初目標が達成できたかどうかではないか。予算策定時や決算における費用対効果の検証結果を委員会などで提示し、その予算執行が市民生活にどれだけ役立ったか、市民にどれだけ評価されているかという市民目線での報告があれば理解は格段に深まっていく。

新年度の予算策定に当たり、前年度の予算執行による成果、すなわち当初目標の達成についてはどのような検証し、新年度予算に反映しているのか。

本市の人事・組織

果はどうかという観点などから行っている。検証方法については、各々の事業内容が分かるデータや成果が分かる資料に基づき、担当課とのヒアリングを実施し、個別に検証を行い、それを踏まえた上で新年度予算に反映している。

問 きらり輝く元气和歌山市実現に向け、職員一人一人の能力アップ、モチベーションアップと同時に縦割り行政を打破した組織横断的な対応が重要だと考える。頑張った人が報われる、それが強い人づくり、強い組織づくり、やりがいのある環境づくりの第一歩である。

全庁で取り組むべき重要課題に対して、部局を横断した柔軟かつ強力なチームが必要だと考えるがどうか。

答 本市ではこれまで「プロジェクトチーム」の制度のほか、職員の意欲や政策形成能力の向上を図り、成果を施策に反映することを目的とした「政策研究グループ」や、職員提案などの制度を活用し、課題解決力の強

化に取り組んできた。これからも、組織の枠に捉われず、多様化、複雑化する課題に対し、迅速かつ積極的に取り組んでいく。



人事評価制度マニュアル

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、マイナポイント事業191万7千円について。これは、国においてマイナポイント事業が令和3年12月末まで延長されることとなったため、マイナポイントの申請手続を補助する会計年度任用職員に係る報酬等を増額するものです。

議案第4号、和歌山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、引用する規定にずれが生じるため、所要の改正を行うものです。

議案第18号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、公用自動車管理事業141万9千円について。これは、職員の新型コロナウイルス感染症対策として、ペダル付き原動機付自転車

購入するものです。

庁舎管理事業449万9千円について。これは、議場における新型コロナウイルス感染症対策として、ウイルス抑制・除菌用UV照射器の設置等を行うものです。

なお、審査過程において、地域活性化企業人活用事業、令和3年度災害警戒本部設置状況、避難所運営物品の組立て・設営訓練の実施について執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



簡易テント



避難所運営物品の組立ての様子

厚生委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、感染症患者搬送事業1473万9千円について。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、患者搬送が増加しているため、業務の一部を外部委託する費用と、保健所が行う患者搬送に使用する車両の増車及びそれに伴う自動車燃料費などを増額するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業2億3626万8千円について。これは、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、国の接種費用変更に伴う加算や接種体制の整備を行うため、予算の増額及び振替等を行うものです。

議案第5号、和歌山市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について。これは、本市が設置する証明書自動交付機のリース期間満了(令和4年3月31日)に伴い、当該交付機における証明書発行の運用を終了するため、所要の改正を行うものです。

議案第18号、令和3年度和歌山

市一般会計補正予算(第5号)中、新型コロナウイルスワクチン接種協力医療機関慰労金支給事業7300万円について。これは、新型コロナウイルスワクチン個別接種に協力いただいた「接種協力医療機関」に対し、新型コロナウイルスをささえ愛基金を活用し、実績に応じて慰労金を支給するものです。

妊婦への分娩前PCR検査事業3724万7千円について。これは、強い不安を抱えた妊婦や基礎疾患を有する妊婦に対し、本人が希望する場合、分娩前にPCR検査を受けるための費用に係る公費負担を増額するものです。



なお、審査過程において、和歌山市の新型コロナウイルス感染症とワクチン接種の状況、新型コロナワクチン接種生活困窮者自立支援金、子育て世帯生活支援特別給付金、和歌山市の環境(令和2年度報告)、し尿くみ取り手数料の減免について執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案5件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、有吉佐和子邸駐車場整備事業611万2千円について。これは、有吉佐和子邸への来館を促進するため駐車場を整備するものです。

つじが丘テニスコート場屋根整備事業5023万2千円について。これは、つじが丘テニスコートの環境整備のため、観客席屋根の増設を行うものです。



つじが丘テニスコートの観客席

企業立地対策事業3000万円について。これは、市内の空き店舗等を活用し、サテライトオフィス等として提供する施設を整備し、その管理、運営を行う事業者に対して、整備に係る経費を補助するものです。

観光誘客対策事業113万6千円について。これは、訪日外国人旅行者の来訪が多い観光地(紀三井寺周辺)のまちあるきの満足度向上整備支援事業として、多言語表示の看板を設置するものです。

議案第18号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、和歌山市事業者支援金給付事業7億9638万5千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が一定割合減少している市内事業者に対し、支援金を給付するものです。

和歌山城関連施設新型コロナウイルス感染拡大予防事業383万4千円について。これは、和歌山城公園内の天守閣や動物園などの各施設の混雑状況、予約状況の見える化及び公園内の主要な場所に来園者が密にならないよう、分散した休憩スポットを提供するものです。

学校ICT環境設備整備事業1998万5千円について。これは、小中学生が活用しているGIGAスクールタブレットについて、家庭へ持ち帰る際に使用する保護ケースを購入するものです。

なお、審査過程において、令和3年度附属機関の会議の開催などについて執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案12件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、民間活力導入検討事業269万5千円について。これは、現市民会館閉館後の民間活力導入に向けて、アスベスト等調査を行うものです。

消防団業務事業63万5千円について。これは、大規模災害時に救助活動に従事する消防団員に対し、作業時の安全性を確保するために切創防止用保護衣を購入するものです。

道路災害復旧事業3億6000万円について。これは、加太88号線において地滑りの兆候が生じたため対策工事を行うものです。

議案第18号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、路線バス利用実態調査事業495万円について。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による利用状況の変化や利用者の行動態様の変化を、ICカード決済で蓄積されたデータを活用し、需要や利用実態に応じた運行頻度の見直しや路線再編も含めた検討をするた

めの調査を行うものです。

救急高度化等推進整備事業5550万6千円について。これは、救急業務に関わる職員及び救急搬送者の新型コロナウイルス感染症対策のため、心臓マッサージシステム及びオゾン発生装置等の購入を行うものです。

議案第19号、令和3年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、道路災害復旧事業800万円について。これは、市道内に土砂等が流出したため復旧を行うものです。また、1500万円については、これは、加太81号線が崩壊したため復旧を行うものです。



加太81号線被災状況

下水道災害復旧事業1000万円について。これは、楠見地区内の水路において水路壁が倒壊したため復旧を行うものです。

なお、審査過程において、和歌山市駅前広場シェルター屋根復旧などについて、執行部から報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

議長メッセージ



議長

よしもと まさずみ
吉本 昌純

市民の皆様へ

新型コロナウイルス感染症が日本で流行して、既に1年以上が経過し、社会経済活動や人々の日常生活様式までもが、すっかり変わりました。

いまだ収束の見えない新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、みずからの感染リスクと戦いながら、果敢に立ち向かい、市民の大切な命を守っていただいている医療従事者の皆様をはじめ、地域社会を支えていただいている全ての方々にご感謝をお伝えいたします。

今後も引き続き市民の皆様方には、大切な家族や愛する人を守るんだという強い気持ちを持ちながら、「オール和歌山」として、一丸となって感染防止の徹底にご協力いただきますようお願いいたします。

和歌山市議会といたしましても、健康を守るコロナ関連施策をはじめ市民生活に密着した施策の推進に全力で取り組むことをお誓い申し上げます。

委員会調査活動報告

建設企業委員会

建設企業委員会では、閉会中の令和3年7月26日に委員会を開会し、県道粉河加太線と磯の浦を結ぶ新設道路である「坂田磯の浦線」や本市東部地域と中心市街地を結び、阪和自動車の和歌山ICへのアクセスの向上や隣接する岩出市や紀の川市との物流を担う「都市計画道路 市駅和佐線」等の現地視察を行いました。



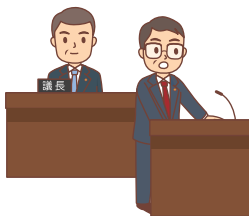
坂田磯の浦線の現地視察の様子

議員連盟

活動レポート

Vol.21

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟は、紀の川の改修(新六箇井堰の撤去)及び内水対策(七瀬川に係る内水排除施設設置)の実現を目標に活動しています。今回は、和歌山河川国道事務所長をお招きし、新六箇井堰等に関する検討状況について説明会を開催しました。目標達成に向け、今後も関係機関と協力して取り組んでまいります。



次の定例会は、
12月です!

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び感染リスク軽減のため、本会議及び委員会の傍聴は、できる限り同時配信しているインターネット中継をご覧ください。ご協力をお願いします。



生中継・録画中継がご覧いただけます。

ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 中庄谷 孝次郎 赤松 良寛
 山中 敏生 川端 康史 坂口 多美子
 中塚 隆 井上 直樹 北野 均
 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL: 432-0022(議会事務局)
 FAX: 424-9276
 Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
 植物油インキを使用しています。

